

真夏ではなくても要注意!! 熱中症に注意しましょう!!



【お問い合わせ】
可茂消防八百津出張所
☎ 43・0476



可茂消防管内では、毎年多くの方が熱中症の症状により救急搬送されています。中でも、農作業中の高齢者の熱中症が特に多く発生しています。個人差もありますが、高齢者の場合には、体内の水分不足を感じるセンサーの反応が鈍くなり、喉が渇いていなくても実際には水分が不足してしまっている事も多くあります。

■熱中症を予防するために

- ・喉が渇いていなくても、屋外での作業前や合間にはこまめに水分補給、休憩を入れる。(水やお茶ではなく、スポーツ飲料などが良い。最近では、熱中症予防専用飲料も販売されています。)
- ・気温が上昇する日中を避け、朝・夕に作業を行う。
- ・節電も大切ですが、屋内ではエアコンや扇風機などを活用し、体温の上昇を抑える。(風通しを良くする)



■応急手当の方法

- ・日陰などの涼しい場所へ移動させます。
- ・着ている服やベルト等を緩めて、安静に寝かせます。
- ・意識があれば水分を摂らせます。
- ・扇風機・うちわなどで体を冷やします。
- ・氷・保冷剤などで、頭や首、わきを冷やします。

■こんな場合は迷わず救急車を…

- ・異常な発汗がある、真っ赤な顔をしている。
- ・意識がない(様がおかしい)、またはケイレンをしている。

平成 24 年度 全国統一防火標語
消すまでは 出ない 行かない 離れない



梅雨時の交通事故防止

梅雨の時期は例年6月上旬から7月中下旬まで続きますが、降雨時の昼間はもちろんの事、朝夕は特に視界が悪くなるため、一層の安全運転を心がけてください。

- タイヤなど、車両の確実な点検
- 控えめなスピードと長めの車間距離
- 急ハンドル、急ブレーキの禁止
- 余裕を持った安全運転のため、少し早めに出発しましょう。



車上狙い被害多発中



買い物のわずかな時間に、車上狙いに遭う事案が多発しています。みなさんは車内にかばんやカードなどの貴重品を置いたままにいませんか？車は金庫や物置ではありません。少しの時間でも車から離れる時は確実に施錠し、貴重品はもって降車しましょう。

- 車内に貴重品を置かない
- 離れる時は、確実に施錠し、車には盗難防止装置を設置する

